

「ふしぎ」

BELIEVE

2005
新緑号
VOL.13

特集 病院の個人情報って？

●シリーズ情熱の白衣・ナースレポート ●ふしぎ自然紀行「春のモズ」



「山上の城」藤橋貴之 (FUJHASHI TAKASHI) 新明塾・京都市 <大阪赤十字病院は作品掲載を通じてバリアフリーを推進しています>



大阪赤十字病院の基本理念

わたくしたちは
人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかよう高度の医療をめざします

患者さまの権利

1. だれもが、一人の人間として、人権がまもられる権利を尊重します
2. 良質かつ適切な医療が、公平に受けられる権利を尊重します
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利を尊重します
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利を尊重します
5. プライバシーがまもられる権利を尊重します

特集

病院の個人情報って？



個人情報保護法

4月1日から個人情報保護法が全面施行され、新聞やテレビなどのメディアでこの法律について耳にされることもあると思います。それでは、医療機関がもっている個人情報ってどのようなものがあるのでしょうか。簡単に同法が成立するまでの経緯や要旨などを交えながら、病院が保有する個人情報について、また本院が行っている個人情報保護の取り組みについてお話したいと思います。

1 個人情報保護法とは？

今日、私たちの名前・住所・電話番号はもとより、職業、家族構成、資産などのさまざまな個人情報は経済的価値のあるものとして利用されています。これらの情報は私たちが何らかのサービスの申込みを受けるのに提供したのもあれば、名簿や業者の顧客リストから漏洩したものもあり、本人の知らないところで利用されたり、やりとりされるなど、私たちに不利益な事態も起こりかねないという状況におかれています。そこで、これらの個人情報を法的に保護し、事業者による適切な利用を推進するために個人情報保護法が制定されました。

2 個人情報とは？

皆さんは「個人情報」と聞くと何を思い浮かべますか？ 個人情報は「特定の個人を識別できる情報」であると言われており、例えば住民票・免許証・名刺などはすべて個人情報と言えるでしょう。また「目で特定の個人が識別できるものだけではなく、他の情報と容易に照合ができることによって特定の個人を識別できる情報」も個人情報にあたります。



3 病院ではどのような個人情報があるのでしょうか。

病院では、一般的な情報（年齢・住所・電話番号等）に加えて、カルテ・フィルム・処方せんなどを含む診療情報を保有しています。診療情報は、医療サービスの提供の必要性を判断し、または医療の提供を行うために、診療等を通じて得た患者さまの健康状態やそれらに対する評価及び医療の経過に関する情報のことです。

これらの一連の個人情報の扱いは個人の尊厳と並んで直接的に生命・身体にまで大きな影響を及ぼす可能性がある情報であるため、特に慎重に取り扱うべきものとされています。

例：カルテ、レントゲンフィルム、検査結果報告書、処方せん、診察申込書、紹介状、診察券、診療費請求書、領収書等

ただ、病院などの医療機関における個人情報は、治療上の必要から適正で迅速な情報の流通が必要な場合もあり、一般の個人情報とは異なる保護対策を行っています。

4 個人情報の利用目的

病院では患者さまの個人情報をどのように利用しているのでしょうか。「医療サービスの提供のため」というのが第一の目的ですが、それに付随するようなかたちで様々な情報が利用されています。現在院内各所（外来等）にその利用目的を掲示していますが、情報を利用するおもだった行為のご紹介をいたします。

- ① 当院における診察、検査、看護等の医療サービスの提供を行っています。
- ② 患者さまを他の病院や診療所に、紹介したり紹介された場合に、診療情報の提供を行ったり受けたりしています。
- ③ 患者さまがかかられている他の医療機関からのお問い合わせに対し、回答することがあります。（例：患者さまが旅行先などで他の病院に救急でかかれた場合。）
- ④ 院内で実施していない検査を院外検査業者に委託する場合があります。当院では守秘義務契約を交わした上で業務委託を行っております。
- ⑤ 患者さまのご家族に病状を説明する場合があります。
- ⑥ 保険診療の診療費請求を行っています。

⑦ レントゲンと呼ばれる患者さまのひと月分の診療内容の明細を書いた請求書を審査支払機関に提出し、保険者負担分を請求しています。また審査支払機関や保険者からの照会についても回答することがあります。



5 個人情報保護に対する取り組み

当院では4月1日の法施行に伴い、院内に委員会を設置し、職員に対して個人情報保護についての意識づけを行うなど個人情報保護に取り組んでいます。

これまでも患者さまに関する個人情報を含む診療情報の取り扱いには慎重に取り組んでまいりましたが、この保護法施行を受けて更に細心の注意を払ってまいります。お気づきの点などございましたらお気軽に窓口までお申し出下さいますようお願いいたします。

当院は患者さまの個人情報保護に全力で取り組んでいます

当院は、個人情報を下記の目的に利用し、その取扱いには細心の注意を払っています。個人情報の取扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

当院における個人情報の利用目的

- 1 医療の提供
 - (1) 当院での医療サービスの提供
 - (2) 他の病院、診療所、薬局、薬局訪問ステーション、介護サービス事業者等との連携
 - (3) 他の医療機関等からの問診への回答
 - (4) 患者さまの診察のため、外部の医師等の意見、助言を求める場合
 - (5) 株式会社医療の委託その他の業務委託
 - (6) ご家族等への病状説明
- 2 診療費請求のための事務
 - (1) 当院での医療・介護・労務保険、公費負担医療に関する事務および委託
 - (2) 審査支払機関又は保険者からの照会への回答
 - (3) 公費負担医療に関する行政機関へのレポートの提出、照会への回答
 - (4) その他、医療・介護・労務保険、および公費負担医療に関する診療費請求のための利用
- 3 当院の管理運営業務
 - (1) 会計・経理
 - (2) 医療事故等の報告
 - (3) 当該患者さまの医療サービスの向上
 - (4) 入院等の病棟管理
 - (5) その他、当院の管理運営業務に関する利用
- 4 企業等から委託を受けて行う健康診断等における、企業等へのその結果の通知
- 5 医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への情報又は届け出等
- 6 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
- 7 当院内において行われる医療改善への協力
- 8 医療の質の向上を目的とした当院内での研究開発
- 9 外製薬企業等への情報提供
- 10 日本赤十字社および日本赤十字社大阪府支部への情報提供

- 【付 註】
1. 上記のうち、他の医療機関等への情報提供についてお気づきの事項がある場合は、その旨をお申し出ください。
 2. お申し出がないものについては、同意していたものとして取り扱わせていただきます。
 3. これらのお申し出は家からいつでも郵送、変更等を行うことが可能です。

こんな症状で悩んでいませんか？

頸椎症

けいついしょう



「放っておくと歩けなくなるよ！」は本当？

整形外科部 副部長 脊椎専門 坂本武志

●脊椎の重要な働き

脊骨(脊椎)は、家にたとえると大黒柱のようなものですが、まっすぐではなく前後に適当に湾曲し安定しています。脊椎の中に脳とつながる脊髄があり、脳の命令を手足に伝えたり、手足からの刺激を脳に伝えたりとも重要な働きをしています。尿や便の排泄にも関わっています。最も頭側にある首の背骨(頸椎)は、7つあり重い頭をのせて上下や回旋などいろいろな方向に動いています。動きの激しいところですから骨と骨との間にあるクッション的役割を果たす椎間板が痛んだり、「骨棘」といった骨軟骨が増生したりして変性変化を生じた状態を頸椎症といいます。

●頸椎症の多彩な症状

頸椎症の症状は多彩であり神経症状以外では、頭部(うなじ)や肩甲骨内側の痛み、頑固な後頭部痛、頸部自律神経障害による頭痛、めまい、耳鳴りなどといったものがあります。神経症状を伴うものは、頸椎症性脊髄症と頸椎症性神経根症に分かれます。脊髄症は字

この2つは全く治療法が異なると言っても過言ではありません。

●脊髄症

初発症状は手や腕(上肢)のしびれで発症するケースが多く、時にしびれがなく、手の筋萎縮による麻痺や筋力(握力)低下を訴える場合があります。主な具体的な症状は、両側の上肢や下肢のしびれ、ちよとした段差につまずきやすくなったり平地歩行でも手すりや介助が必要になったりといった歩行障害(痙性歩行)、お箸で豆など小さいものが摘めない、書字困難、ワイシャツのボタン掛けがしにくいなどの手指の障害(手指巧緻運動障害という)、尿の出が悪くなったり勢いが衰えたり、残尿感や頻尿といった排尿障害などがあります。

●神経根症

初発症状は1側の上半身痛が多く、頸部や頭部、肩甲骨周囲の痛みで発症する例も少なからず見られます。症状としては、肩から手指への刺すような痛みやしびれ、安静臥床でも軽快しない手のやり場のないような筋肉痛様の痛み、頸部を伸展したときの放散痛などがあります。

●診断の仕方は？

診断は、まずしびれや痛みの部位、程度を診ます。腱反射の異常を調べ筋力テストを行い、次に画像診断に移ります。単純レントゲンで

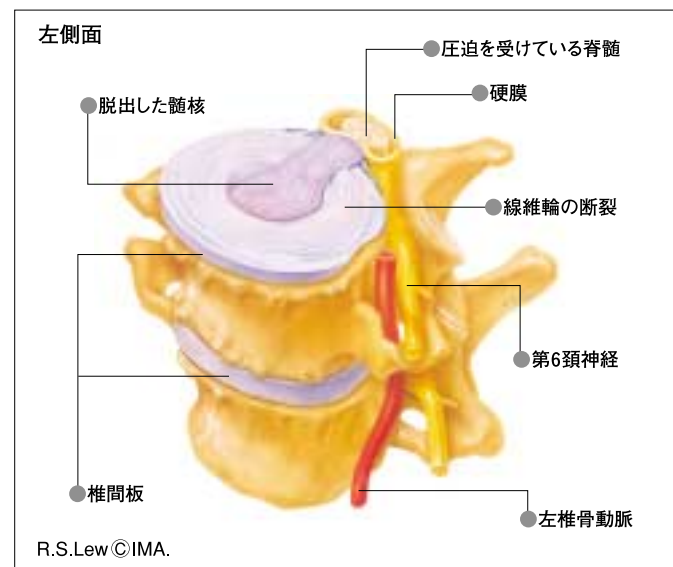
異常の有無を調べます。脊髄症を疑う時は必ず機能写といって上と下を向いた写真を撮ります。次にMRIにて非侵襲的な精密検査をします。一番大事なのはどのレベルが責任病巣なのかを判断する、高位診断だと考えています。診断がつきにくい時は、造影剤を使用するミエログラフィーや電気生理学的検査を行ったり、その他の疾患を想定して神経内科へ依頼することもあります。

●脊髄症

症状が手指のしびれ程度で罹病期間が短い症例であれば、頸椎の持続牽引や頸椎装具が有効となる場合もあります。しかし、基本的には慎重な経過観察と転倒などにより急性増悪しないよう啓蒙することが唯一の保存治療(手術ではない治療)と考えています。初診時に中等度以上の脊



髄症が生じており、日常生活に支障を来したり就労に差し支えるようであれば手術治療を勧めます。どの分野の手術でもそうですが、100%安全な手術など有り得ませんが、漫然と保存療法を施行し手術時機を逃



服用や湿布の使用により症状の軽減をみます。当院では行っていませんが、通院による理学療法(牽引、温熱、干渉波)は最も効果的な治療法です。また、頸椎カラーの装着も有用性が高いと考えられています。しかし、(3〜)6ヶ月の間、治療して効果のない症例は手術適応があります。実際には顕微鏡下椎間孔拡大術(神経根の通り道を広げる手術)、前方除圧固定術、前方神経根除圧術などを施行しています。最小限の侵襲で済む椎間孔拡大術が最も多く、術後10日ほどで退院ができます。

すと車椅子生活や要介護生活になる危険性があることを十分に理解していただき手術を行っています。当科では、主に多椎間病変では観音開き式の椎弓形成術(脊髄の通り道を広げる手術)を、単椎間例では顕微鏡下選択的椎弓切除術(深層伸筋温存法)を行い、術後10日から2週間ほどで退院ができています。不安定性のあるものは、固定術(椎弓根スクリューや前方骨移植など)を併用しています。

●神経根症

脊髄症とは違い、できるだけ保存療法を行うことです。消炎鎮痛剤(いわゆる痛み止め)や筋弛緩剤

両者の合併もありますが、神経根症のみでは決して歩けなくなるということはありません。同じ頸椎症性でも全く予後の違った疾患であるという考え方が必要です。

当院整形外科では、平成16年後半より最新式の手術用顕微鏡が導入され、脊椎手術において今まで以上に視野の確保、操作性の向上が得られより安全かつ円滑に低侵襲手術を専門医によって行われています。手術をするしなだけでなく、脊椎や四肢の機能障害については一度専門医の診察を受けることが何よりも大切です。

現在、整形外科では専門性を重視し診療を行っています。分野としては、脊椎、スポーツ(内視鏡手術一般)、股関節、人工膝関節です。各々の担当医師、外来曜日については整形外科外来にお問い合わせください。

大阪赤十字病院 健康セミナー

「手術翌日から歩ける人工膝関節
～思ったより楽に受けられ、
膝の痛みはすぐなくなります～」

●日時:平成17年7月9日(土)
14時～15時30分

- 参加費:無料
- 定員:200名
- 講師:大阪赤十字病院 整形外科部 副部長/大浦好一郎
- 会場:大阪赤十字病院 講堂
- お申し込み、お問い合わせ

ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号・参加人数を明記の上、下記までお申し込みください(FAXでのお申し込みも可)。6月30日(木)必着。先着200名様に受講票を送らせていただきます。

〒543-8555
大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30
大阪赤十字病院 大浦好一郎
FAX/06-6774-5131

シリーズ 情熱の白衣
医師の素顔 ⑩

●医療に通じる茶道の精神●



心臓血管外科医というのは、医師の中でも特に24時間勤務のようなものだが、

鳥根の地では比較的柳がゆるく、好きな魚釣りや史蹟めぐりも楽しむことができた。

「鳥根は魚影の濃いところで、大きな鯛をクーラーボックスいっぱい釣りました。一番の思い出です」と懐かしそうに当時を振り返

座右の銘「和敬清寂」にみる
医師としての心得。

心臓血管外科部長

南一明

幅広く、各科での診療を経験。

南医師は、インターンのときには内科に所属。その後、一般外科、胸部外科、呼吸器外科、心臓血管外科に勤務し、その間、なんと産婦人科や泌尿器科、整形外科の手術にも関与、肺ガン患者さまを診た経歴も持つ。わが子の誕生時にも帝王切開の手術をして取り上げたほど。

「今、医師は専門化されていますが、私たちの頃は幅広く診療したものです。盲腸でも、自分で麻酔をかけ、ひとりです術しました。なんでもこなしたので、何があってもたじろぐことはないですね(笑)。それが強みです」と言う南医師は、今から20年ほど前からの約10年間、鳥根の病院に赴任していた。



鳥根県海岸釜浦港で友人が釣り上げたもの。これ以上のものを釣れば記念撮影予定でしたが、その日はとうとう……。

る南医師。現地の人に教わったふかせ釣りの方法や、釣った魚を解剖よろしく3枚に捌く方法を身につけた話などをしてくれた。

役目は、医療レベルの維持と後継者の育成。

平成7年から当院勤務になった南医師は、多忙な合間を縫って、休日に古寺めぐりを楽しんできた。1年余りかけて、妻とマイカーで西国33ヶ所観音巡礼にも出かけた。

「最も印象に残っているのは上院酬寺ですね。急な坂で、上るのに歩いて1時間かかりました。2回行きましたが、2回とも足に血豆ができました。爪がはがれたりしました」。

南医師が心臓血管外科医となつて33年。当初は先天性心臓疾患の患者さまが主だったが、その後の医療の進歩と変化により、この科の病態も様変わりした。本来、心臓血管外科は内科の補完的な役割を担っているため、内科のことも精通している必要があり、独特の難しさがある。

「今の私の役目は、当科の医療レベルを下げないことと、後継者の育成です」と語る南医師。そんな南医師の座右の銘は「和敬清寂」。互いに仲良く敬い合い、見た目だけでなく心も清らかであり、どんなときにも動じない心を持つこと……。南医師は、この茶道の精神は、医療のあり方と相通じるものがあると考え

ている。それは、医師と患者さま、あるいは医師同士の関係にも当てはまるのだらう。長く深く医療に携わってきた南医師の心根を垣間見ることができようかな言葉だと思ふ。



PROFILE KAZUAKI MINAMI

昭和16年4月12日、神戸生まれ。昭和35年甲陽学院高等学校卒業。昭和41年京都大学医学部卒業。昭和42年同大学医学部外科学教室入局。大和高田市市民病院外科、天理よろづ相談所心臓血管外科、滋賀医科大学第二外科、京都大学医学部第二外科、同大学医学部心臓血管外科、大津赤十字病院心臓血管外科、鳥根県立中央病院心臓血管外科勤務を経て、平成7年9月大阪赤十字病院心臓血管外科部長兼、現在に至る。

スレホイ
心ゆるる日々 12

モチベーションを上げるためにもいろいろなことに取り組みたい

松山栄子
まつやま えいこ

PROFILE

昭和37年4月19日、大阪府生まれ。平成2年大阪赤十字助産師学校卒業。助産師免許取得。大阪赤十字病院産婦人科勤務。平成9年大阪府看護教員養成講習会受講。平成14年佛敎大学社会福祉学部社会福祉学科卒業。社会福祉士取得。平成16年介護支援専門員取得。思春期保健相談員。8階A病棟看護係長。



と偏った見方しかできなくなる可能性もあります。そのため、違う視点から自分の仕事を見て視野を広げたいと思ったわけです。大学の同級生には60〜80代の方もおられて、いろいろな友達ができました。さまざまな方々の考え方や生き方に触れ、刺激を受けることができたという経験は、私にとって財産となりました。大学の勉強は、しんどかったけれど、達成感がありました。私はコッソツ型ではないので、休日をだらだら過ごすときは、1日中パジャマでテレビを見たり、寝たりして過ごし、その代わり、勉強するときは1日中打ち込むというやり方で集中してやりました。

勉強することは、モチベーションを上げるためにも大切だと思うので、その後もいろいろなセミナーに出かけたりしています。セミナーに参加するときは、先輩や同僚を誘って行き、帰りは、おいしい料理とお酒を楽しみます。それでもたリフレッシュするという感じですね。私はお酒が大好き。歓送迎会などでは、たくさん飲みます(笑)。

当院の近くに住むスタッフが交代で、酔いつぶれた私を泊めてくれるんです(笑)。

休日には、親孝行を兼ね、両親を連れて温泉へ日帰りドライブします。これもリフレッシュ法の一つですね。今まで行ったところではよかったのは竜神温泉。次はぜひ白山の温泉へ行ってみようと思っています。



私は、母性という面から、女性の一生をテーマに仕事をしているわけですが、その世界にとっぷり浸かっています。

平成2年に助産師免許を取得し、当院産婦人科に勤務して以来ずっと産婦人科ですが、最近では、外来とNICU(新生児集中治療室)を掛け持ちで担当しています。もともと、助産師になったのは、出産というおめでたい場に立ち会いたいという気持ちがあったからです。患者さまから「分娩時にずっと一緒にいてもらえて安心した」、「二人目のお産もここでします」などと言っていたと聞いてうれしかったです。スタッフみんなががんばっている、その成果だと思います。

私は、平成9年に看護教員養成講習会を受講したのですが、そのときの教授が「一般大学へ行き直すことを勧められたんです。そこで、自分の仕事を究めることができたこと」と思い、大学の通信教育を受けることにしました。



おくすり
ミニ知識

ステロイド外用薬

ステロイド外用薬に関する情報は、新聞や雑誌、あるいはインターネット上などで洪水のごとくあふれかえっています。それらの情報のなかには、間違いではありませんが、偏った情報も多く含まれています。そのため、誤った知識を持たれている方も少なくありません。



ステロイド剤にはアレルギーや炎症反応に関わる種々の物質が作られるのを強力に抑える作用があります。また、外用ステロイド薬には多くの種類があり、作用の強さ、薬の剤形により分類されます。強さの種類には、非常に弱いものから非常に強いものまで約5段階の種類があり、剤形の種類にはクリーム、軟膏、ゲル、ローションなどがあります。そして、皮膚の症状および重症度、塗布する部位などに応じて細かく使い分けられます。ステロイド外用薬は正しく使用すると非常に効果がありますが、失敗すると副作用があらわれます。一般に聞かれる失敗例は専門以外の医師による処方や、患者さまの自己判断での使用によることが多いようです。例えば、数日間の使用なら副作用の心配はありませんが、長期間使用すると皮膚が黒ずんだり、薄くなったりするステロイド皮膚炎という副作用が起こる場合もあります。ステロイド外用薬は正しく使用されれば極めて有用性の高いお薬です。皮膚科専門医の指示どおりに使用するようにしましょう。

(薬剤部 籠本基成)

栄養管理課◎伊藤大翼(管理栄養士・糖尿病療養指導士)

食習慣の改善

肝臓疾患の食事療法について

vol.8



肝臓はさまざまな栄養素代謝における中心的な役割を担っている臓器です。そのため予備能力が高く、病気がかなり進行しないと自覚症状が現れません。このため「沈黙の臓器」と呼ばれています。健康診断などの血液検査で異常が認められた場合、たとえ自覚症状がなくても直ちに受診し治療していくことが重要です。

肝臓疾患には急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変・脂肪肝などがあり、さまざまな栄養障害を引き起こしますので、それぞれの状況に応じた食事療法が必要となります。

肝硬変

肝硬変の多くはB型及びC型肝炎ウイルスによる慢性肝炎から進展したもので、肝細胞の壊死・変性・炎症とともに線維化が進み、肝細胞が減少している状態です。

代償性肝硬変では慢性肝炎と同様の「規則正しくバランスのとれた食事」が原則となります。非代償性肝硬変では、腹水や浮腫を伴う場合は塩分制限(5〜7g/日)を行ないます。血中のアンモニア濃度の上昇や意識障害(肝性脳症)がある場合はたんぱく質制限(0.8〜1.0g/kg/日)を行ないます。また便秘や肝性脳症の予防のために食物繊維を十分に摂るようにしましょう。

肝硬変では十分な食事を摂取していても栄養状態が悪い場合があります。この原因の一つは血液中の分岐鎖アミノ酸(バリン・ロイシン・イソロイシンのこと)でBCAAともいって減少するためです。これは機能低下した肝臓の代わりに筋肉でアンモニアが処理されるときに、分岐鎖アミノ酸が消費されるためです。また、糖をエネルギーとして利用できないときも分岐鎖アミノ酸がエネルギーとして燃焼します。しかし、食事から摂取できる分岐鎖アミノ酸には限界がありますので、肝不全疾患用経腸栄養剤(アミノレバンEN)へパンEDなどで補うこととなります。従来の肝不全用経腸栄養剤は、味が悪く患者さまにはかなりの負担となっていました。最近ではかなり改良されています。

急性肝炎

急性肝炎の原因にはウイルス、アルコール、薬剤などがありますが、その多くはウイルスによるものです。

栄養療法としては必要十分なエネルギー補給が重要となりますが、食欲不振が強く食事がまったりと摂れないことがあります。この場合無理強いせず、2〜3日かけて少しずつ食事を開始していきま。食事の内容としては、消化器症状や黄疸があるときは脂肪を制限しますが、そのほかの場合は一般的なバランスのとれた食事となります。

慢性肝炎

慢性肝炎とは、肝臓の炎症が6ヶ月以上継続したもので、その多くはB型及びC型肝炎ウイルスによるものです。

食事については、規則正しくバランスのとれた食事を摂取することが重要です。なおアルコールは禁酒が原則となります。そのほか特別な制限はありません。

脂肪肝

脂肪肝とは肝細胞の内部に異常に脂肪が蓄積された状態であり、過栄養性・糖尿病性・アルコール性・低栄養性のものであります。

食事療法としては、過栄養性ではエネルギーの適正化とバランスの良い食事を、糖尿病性では良好な血糖コントロールを、アルコール性の場合は禁酒を行い、過栄養性と同様のバランスの良い食事を、低栄養性では十分なエネルギーを摂取し、高たんぱく質(1.2〜1.5g/kg/日)、高ビタミン食とします。

非代償性肝硬変においては、長時間の空腹は肝臓でのグリコーゲンの枯渇をきたし、早朝に飢餓状態(健康者でいうと2〜3日間食事を摂っていない状態)となつていきます。就寝前に少量の夜食を摂取することにより、早朝の飢餓状態を防ぐことができます。夜食としては、炭水化物中心でたんぱく質・脂質も含み、分岐鎖アミノ酸も豊富に含み、胃にもたれず、簡単に作れるものがよく、就寝前(22時頃)の肝不全用経腸栄養剤の服用はこれらの条件を満たした栄養補給です。

スマトラ島沖地震・津波災害救援報告 ~前編~

呼吸器外科部 副部長 中出雅治

当院の呼吸器外科副部長・中出雅治医師が、昨年12月末に発生したスマトラ島沖地震による津波災害救援に1ヶ月間派遣されました。今号と次号の2回に分けて、その救援活動の様子などをみなさんにお伝えいたします。

昨年末に起こったスマトラ島沖地震に対し、世界中から赤十字に多くの寄付が寄せられ、赤十字連盟はただちに救援を開始、日本赤十字社も連盟の指揮のもと津波発生直後より緊急援助チームを編成し、4月末まで現地で医療救援を行いました。国内外の救援を積極的に行っている本院では、過去の災害や紛争の際にも医師、看護師、技師らを多数派遣しておりますが、今回は2月8日から約1ヶ月現地に派遣され、日赤医療チームの一員として活動いたしました。活動地は、スマトラ島北部のアチェ州のムラボーという町です。

アチェ特別州は、元々アチェ族の武装組織が独立闘争をしている場所で、津波以前はインドネシア政府が外国人を排除していた地域です。ムラボーは、津波で最大の被害を受けたバンドアアチェから西海岸を南へ200kmくらい下ったところにある町です。ムラボーでは他のNGOとして、国連、ユニセフ、国境なき医師団など、また他国の赤十字としては、スペイン赤十字が水の供給を、フランス赤十字が住民へのワクチン接種の活動をしていました。

現地では、海岸から約1kmが根こそぎ瓦礫の山と化しており、我々が着いた当初は遺体の収容こそ終わっていましたが、仮設住宅などの*インフラの整備は全く進んでおらず、多くの人々がテント生活を強いられていました。

*インフラ/社会基盤

日赤は州政府が軍のキャンプに隣接して設営した約2,000人が生活するテント村の一角にエアータントを建て、ここでインドネシア赤十字の医師と二人で診療をしました。診療は薬代を含めて無料で提供されます。診療所には血圧計と体温計、マリアアを診断するキット以外の検査器具はなく、処置用品は、簡単な局所麻酔の手術をする程度のもの、薬品はWHOが設定した緊急援助用の薬品群だけで、非常に制限されたものです。1日70人前後、乳児からお年寄りまであらゆる疾患を持った人が来診します。コミュニケーションは、現地で雇った通訳を介して行います。日本からの医療団というので、テント村以外からも、虫歯や白内障、若いころからの神経痛など、緊急援助の対象疾患でない人も結構来て対応に苦慮する一方、日本にいる時のように検査

を出したりCTを撮ったりなど全くできないために、診療はシンプルです。重症で対応しきれない場合は、ムラボーに1つ残った病院へ紹介状を書いて送ります。疾患傾向としては、内科系9割、外科系1割でした。

(後編に続く)



日赤テント診療所

ご存じですか？

各診療科のご案内

総合診療科

「総合診療科」とはどのような科かご存じでしょうか。当院では平成16年10月から総合診療科を開設し、現在4人の医師で診察を行っていますが、具体的にはどのような疾患を診察している科なのか戸惑われる方が多いようです。それではどのような診察を行っているのでしょうか、簡単に紹介いたします。

総合診療科とは？

総合診療科の定義として、以下のような言葉があります。

「総合診療科とは、個々の患者さまの抱える問題の大部分に対処でき、かつ継続的なパートナーシップを築き、家庭及び地域という枠組みの中で責任を持って診療にあたる、そのような臨床医によって提供される、総合性と受診のしやすさを特徴とするヘルスケア・サービスである」

つまり、個々の患者さまの抱える健康上の問題のほとんどを扱えるだけの幅広い臨床能力を有すること、患者さまがかかりたいと思う時に喜んで応じること、患者さまとは長年にわたり打ち解けた人間関係を築けること、それに疾病の診断や予防等について家庭や地域社会にも心配りができること、等が総合診療に携わる医師には必須ということになります。

他科との大きな違い「非選択性」

① 症状や疾病についての非選択性

患者さまの訴える症状や抱える疾病を聞いただけで、最初から診察するかしないか決めない。この症状・疾病はうちの科の対象ではないと拒否しない。問題によっては専門医への相談が必要なのは当然であり、そのタイミングを適切に判断します。

② 器質的疾患かどうかの非選択性

器質的疾患（本当の内臓の病気）だけでなく、患者さまの心理・社会的側面についても十分配慮します。

③ 治療なのか、予防なのかについての非選択性

既に存在する疾病にのみ興味を示すのではなく、予防効果のあることが証明されている行動には積極的に介入します。

どのような患者さまを診察するのでしょうか？

すでにお話ししました3つの非選択性の特徴としています。当科では、どのような患者さまが受診されても対応させていただきます。

ただし、当院には外科・脳神経外科・呼吸器外科・整形外科・形成外科・口腔外科などの外傷を専門とする診療科がすでにありますので、外傷に関連したことでお困りでしたら、初めからそれらの科を受診することを勧めいたします。どの診療科を受診してよいか分かります。この場合場合は当科を受診してください。

総合診療科医師紹介

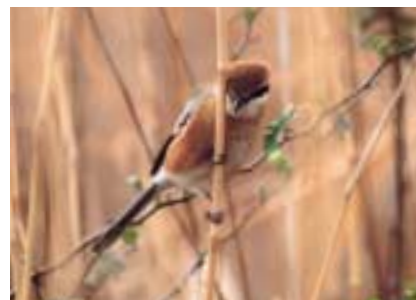
- 大野城太郎
 - ・専門分野／総合診療、感染症、膠原病、自己免疫疾患
 - ・資格／アメリカ内科学会上級会員（FACP）、日本内科学会認定内科専門医、感染制御ドクター（インフェクションコントロールドクター：ICD）
- 松田 綾
 - ・専門分野／総合診療、消化器
 - ・資格／日本内科学会認定内科医
- 山口恭一
 - ・専門分野／総合診療
 - ・資格／日本内科学会認定内科医
- 小田垣孝雄
 - ・専門分野／総合診療

ふしぎ 自然紀行

鳥たちのかがく-12

「春のモズ」

武庫川女子大学附属中学校・高等学校教諭 平松山治



獲物を探しているオス

なる冬のためのなわばり宣言なのです。このように、秋のモズは私たちにもよく目立つ存在となつているのですが、子孫を残す最も大切な時期の春、モズはどのように過ごしているのでしょうか。

新緑の季節になると

秋になると、モズは見晴らしの良い枝先でキーキーキーキーギチギチギチと大きな声で鋭く鳴くようになります。これが秋の風物詩の「モズの高鳴き」です。

モズは全長20cmほどの小鳥ですが、鋭いくちばしを持つ肉食の鳥です。バッタやカエルなどをとがった枝先に刺しておく「モズのはやにえ」をご存じの方もいると思います。ヨシ原の中で目の前に、ヨシの枯れ枝に刺されたハタネズミが現れてギョツとしたこともあります。モズはときには何と自分の体重の2倍近いシロハラを襲つたりすることもある優秀なハンターで、「高鳴き」は、獲物が少なく

オオルリやホオジロのオスは、枝先で美しく、はなやかにさえずりますが、これは、なわばりの宣言でもあり、恋の歌でもあるようです。モズは、まだ寒い3月の初めから巣を作り始めますが、この頃、どこからともなく小声でチュルチュルチュルというようなやわらかな声が聞こえてくる場合があります。それにヒバリなどのさえずりが交じり、まだ来ているはずのないキビタキなどのさえずりが入ってくると、これがモズの恋の歌なのです。なぜかモズは他の鳥のさえずりをまねるのですが、百舌とい



メス

う名もそのあたりからきているのでしょうか。とにかく、秋の高鳴きとは似ても似つかない声なので、気付かないのも無理からぬことなのでしょう。



チュルチュル鳴きをしているオスのところにメスが入ると

ていきます。このときにメスを呼び込むのに恋の歌が役立つようです。このときオスは、チュルチュルと鳴きながら歌だけでなく、踊るのです。枝先でくるくる回ります。これは見ものです。そして、その踊り（メスは踊りの質ではなく、なわばりの質を調べているという話もありますが）が気に入ると、めでたく結婚の成立となります。そして、メスがオスに、ヒナが親に餌をねだるジャージャーという騒がしい声以外は、モズの春は、静かに過ぎていきます。

※モズについては私の先生でもある山岸 哲さんが「モズの嫁入り」大日本図書という書物に詳しく書かれています。もっとよく知りたい方は、ぜひ、その本をお読みください。

患者さまからの声

Q

いつも外来でお世話になっています。外来受診時に気になることなのですが、仕事の関係でかさばる荷物を持って来院することが多いのですが、どこか荷物を預かってもらえる所があればよいと思うのですが。他の患者さんを見ていても、買い物紙袋を下げていらっしやったりして、不便そうに見えます。

A

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

院内の掲示等での周知が行き届かず、ご不便をおかけして申し訳ありませんでした。お荷物のお預かりにつきましては、今年2月上旬から1階正面玄関・総合ホールの保険証確認窓口の後方にコインロッカーを設置いたしております。そちらの方をご利用いただければと存じます。ロッカーのご利用料金は1回100円、当日預かりのみの取り扱いとさせていただきます。なお、設置台数が10台と数が限られておりますので、外来患者さまのみのご利用とさせていただきます。ご入院患者さまのお荷物のお預かりはできません。ご了承ください。

TOPICS BOX

トピックス&ニュース

小児外科開設のごあんない

平成17年4月、小児外科が新たに当院の診療科に加わりました。

小児外科は、もう少し詳しく表現すれば「小児一般外科」のことで、赤ちゃんから15歳以下の子どもを対象に一般外科治療を行う診療科です。子どもの身体はおとなのように完成したものではなく、あらゆる臓器が発育途上で、その機能調節のしかたも未熟で、発育と共にその機能もどんどん変化していくという特徴があります。また、子どもはおとなに比べて身体が小さく、手術に際しては非常に繊細なテクニックが必要とされます。



このような事情を踏まえ、当院では小児外科を新たに開設しました。小児の身体の生理、疾患と病態、治療法に精通した専門医が治療を行っています。

●診療日:毎週月曜日・水曜日(2階外来Bブロック)

●医師:松川泰廣(小児外科部長)

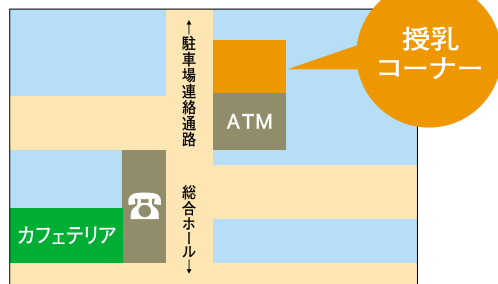
※小児外科の診療内容の詳細いご紹介は、本誌の来季号に掲載する予定にしています。

2階に授乳コーナーを設置しました

2階に新たに授乳コーナーを設置しましたのでお知らせいたします。

●ご利用時間:外来診療日の8:00~17:00

※この時間帯以外は施設しております。



『2005最新版手術数でわかる いい病院全国ランキング』(週刊朝日臨時増刊2005.3.10発行) ランクイン!

今年も以下のような評価をいただきましたのでお知らせいたします。

- 〈全国〉●耳鼻咽喉科・鼓室形成手術等…1位
- 外科・肝臓がん手術……………34位
- 〈近畿地区〉●肝臓がん手術……………9位
- 胃がん手術……………14位
- 大腸がん手術……………16位

今後も職員一同、患者さまにとって良い医療を提供できますよう努力いたしますのでよろしくお願いたします。



研修・実習等へのご協力をお願い

当院は臨床研修病院に指定されており医師の卒後臨床研修を行っています。また看護師・薬剤師・検査技師・放射線技師・救急救命士等の実習を行っています。研修医や実習生が外来での見学を行ったり、入院中の患者さまを受け持たせて頂いたりすることがありますが、これからの医療を担う人材育成のため、皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。

海外たすけあいへのご協力ありがとうございました

昨年末に募集をいたしました「海外たすけあい」の義援金ですが、1階2階に募金箱を設置し、たくさんの方々にご協力をいただきました。最終集計の結果、286,055円が集まり、日本赤十字社大阪府支部にお届けいたしましたことをご報告いたします。

消防功績顕彰を受賞しました

3月7日の消防記念日にあたり、大阪市自衛消防連合協議会ならびに大阪市消防局長から当院の自衛消防隊が消防功績顕彰を授与されました。

これは、当院が特に消防活動(出初式等)に積極的に参加し、自衛消防活動(自衛消防訓練)が顕著であり、防火管理体制が整っている(防火優良認定証を取得<右→)等の厳正なる審査により、優良な自衛消防隊として推薦されたものです。

今後も更なる自衛消防活動の充実をはかり、地域の役割の一端を担う病院づくりをしてまいります。



「むっちゃん健康」好評放送中!

毎週土曜日午前11時から放送中のラジオ大阪(1314KHz)の番組「むっちゃん健康」。この番組のコーナー「健康 e モード!」に4~7月の間、当院職員が出演しています。機会があれば、是非お聴きください!

5・6月は赤十字運動月間

日本赤十字社大阪府支部では、今年も5・6月を「赤十字運動月間」として府内各地でキャンペーンを展開し、赤十字の考え方や活動をご理解いただく活動を行っています。

当院におきましてもこのキャンペーン期間中に院内各所に募金箱を設置し、赤十字の活動を支援していただきます。皆さまの心温まるご支援をお願いいたします。

- 募金箱設置場所(~6/30)
- 1階/案内カウンター
- 2階/師長案内カウンター
- 3階/ボランティア案内机



編集後記

4月に入るやいなや、あつという間に桜、ハナモモ、ハナミズキ、ツツジと次々に開花シーズンが終わってしまいました。思うに、4月は師走に匹敵するくらい植物も人もバタバタする時期なのではないでしょうか。本当はもっとこの季節を楽しみたいと毎年思うのですが…。とはいえず、木々の緑と空の青が美しいコントラストを奏で、4月からの疲れた気分をほぐしてくれよう。5月病(最近は6月病もあるらしいです)はこの時期によく見られる症状で、抑うつ気分、不安感、あせりなどから不眠、強い疲労感、やる気がでない…などの状態を言います。3月末から4月にかけて知らず知らずのうちにストレスが溜まり、このような症状を引き起こすと言われています。身体的にも精神的にも疲れているこの季節、たまには緑越しの青空をのんびり眺める時間を作ってみてはいかがでしょうか。

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
消化器科		津村 蜂谷 友野	福山 辻 那須	大鶴 友野 大崎 嘉数	友野 辻 松尾	齋藤 友野 圓尾	
		津村	福山 辻 那須 波多野	大鶴 大崎	辻 松尾	齋藤 圓尾 蜂谷	全て予約制
消化器科(肝臓外来)		喜多	大崎	木村	杉之下	西川	午後は予約制
糖尿内科		隠岐	武呂 政次	田中	隠岐	政次 田中	午後は予約制
内分泌内科・肥満		田中	隠岐	武呂	政次	武呂	午後は予約制
血液内科		通堂 金子	渡邊 有馬	蝶名林 通堂	菱澤 渡邊	有馬 通堂	
		蝶名林	渡邊 有馬	有馬 通堂			全て予約制
免疫・リウマチ内科		竹内	竹内	竹内			午後は予約制
腎臓内科		宮本	南方	(1・3・5週) (宮本) (2・4週) (南方)	宮本	南方	全て予約制
循環器科		伊藤 林	田中 牧田	伊藤 稲田	滝本 内山 田中	垣田 田中 稲田	午後は予約制
		牧田	垣田	滝本	田中	稲田	午後は予約制
心臓血管外科				南		南	午後は予約制
小児科		新居 山本 田中	金岡 住本 宋	田中 葭井 山本	新居 濱田 住本	金岡 坂本 田中	
		田中	宋	山本	住本	田中	
小児外科		松川		松川			
外科		端 亥埜 露木	亥埜 東山 山中	崎田 中島 中野	三木 有本 (隔週 井ノ本・露木)	井ノ本 浮草 東山	
				(1・3・5週) (中島) (2・4週) (浮草)	(隔週 井ノ本・露木)		
整形外科		富原 坂本 吉田	大浦 鈴木 富	富原 浅野 坂本	大浦 鈴木 佐治	浅野 吉田	
			鈴木 富原	富原	鈴木		
リハビリテーション科		河野	担当医	河野	浅野	富原	
		河野	担当医	河野	浅野	浅野	
脳神経外科		担当医	岡本 橋本 担当医	担当医	岡本 新田 担当医	小室 井坂 担当医	
神経内科		金田 鈴木 鷺田	鷺田 加藤 安井	安井 金田	鈴木 加藤 金田	加藤 鈴木 鷺田	全て初診のみ 全て再診のみ 全て再診のみ
		鷺田	安井		金田	鷺田	
総合診療科		大野	山口	松田	大野	小田垣	

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
呼吸器科		吉村 網谷 (1・3・5週) (村井) (2・4週) (中村) 黄	西坂 田原 村井	網谷 若山 (1・3・5週) (中村) (2・4週) (村井)	西坂 田原 中村	若山 吉村 黄	
				網谷(予約)			
呼吸器外科			弘野	渡辺 田中		中出	
産婦人科		松本 木下 福嶋	安彦 馬場 西川	西川 松本 安彦	福嶋 木下 三瀬	三瀬 馬場 松本	産科・助産婦外来 婦人科外来 婦人科外来
泌尿器科		金子 寺田 担当医 金子	西村 寺田 岡田	西村 担当医	西村 金子 新垣	金子 北原 担当医	全て予約制
					西村 金子 寺田		全て予約制
眼科		柏井 正井 木村 廣井	廣井 担当医	正井 木村 田口 荒川	柏井 担当医	田口 荒川 正井 松山	
耳鼻咽喉科 気管食道科		山本 箕山 塩見 柿木	堀江 岩永 與那嶺 柿木	堀江 箕山 與那嶺 塩見	担当医	山本 岩永 塩見 柿木	
皮膚科		酒井 生駒 杉本	堀口 太田 酒井	堀口 生駒 杉本	(隔週 杉本・酒井)	堀口 杉本 酒井 堀口	全て予約制
形成外科		心石	橋本	秋山	心石	秋山	
精神神経科		吉田 麻生川 担当医	早川 土戸 担当医	麻生川 吉田 担当医	土戸 早川 麻生川	(再診のみ) 早川 土戸	
放射線科		井藤 石垣 有菌 清水・小嶋 小嶋・清水 井藤	藤堂 石垣 (外科) 小嶋 井藤 藤堂 (循環器科)	藤堂 石垣 小嶋 井藤	小嶋 (消化器科) 福山) 井藤・小嶋 有菌・井藤 小嶋 清水・有菌	清水 石垣 井藤 有菌・小嶋 藤堂・有菌 清水 検査(透視) 検査(CT) 検査(MR) 検査(RI) 検査(血管造影)	診断 治療 検査(透視) 検査(CT) 検査(MR) 検査(RI) 検査(血管造影)
歯 口腔外科		鹿野 杉立 久保	杉立 鹿野 久保	久保 杉立 鹿野	担当医 (隔週 鹿野・久保)	(隔週) 杉立 (鹿野・久保)	全て初診のみ 全て再診(予約制)

※異動等により変更になる場合があります。下記ホームページの各診療科のご案内をご覧ください。各科外来にお問い合わせ下さい。



■当館は全面禁煙です
当院では館内を全面禁煙とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

■受付時間(月～金) <診療開始は午前8時45分からです>

- 初診の方/月曜日～金曜日:午前8時30分～午前11時30分
- 再診の方/月曜日～金曜日:午前8時45分～午前11時45分

■休診日

- 土曜日・日曜日・祝日・12月29日～1月3日・5月1日(本社創立記念日)

■入院のご案内

- 平日/14:00～19:00 休診日/10:00～12:00、14:00～19:00
- 小児病棟(平日・休日とも)/14:00～19:00

※病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護師にご相談ください。

■診察券

- 診察券は全科共通で永久に使用いたします。ご来院時には必ずお持ちください。

■保険証等

- 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

お問い合わせ ☎06-6774-5111 (代表)

<大阪赤十字病院> <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>

<赤十字全般> <http://www.jrc.or.jp/>